



入れ歯を体の一部にする為に 大切な入れ歯の調整



過去の通信で入れ歯の役割
や作成工程などを紹介しましたが今回
は入れ歯の調整方法を特集します。

なぜ入れ歯が合わなくなる？

◆使用中の入れ歯が合わない原因

- ① 長期間の使用による入れ歯の摩耗
- ② 総入れ歯では顎堤(歯がなくなつて
歯肉だけになった部分)の退縮
- ③ 部分入れ歯を支える歯(鉤歯)が虫
歯になったり、ばね部分が破損する
- ④ 著しい体重の減少などにより、顎堤
粘膜の形状変化が起こる
- ⑤ 顎堤(歯茎)粘膜が薄くなる、など

◆新しい入れ歯が合わない原因

- ① 型取り自体が瞬間の記録でしかな
く口に入れて咬むことにより筋肉
が動くため
- ② 正常な噛み合わせや歯茎の高さに
戻した為に違和感がでる
- ③ 作製中に起こる患者様の顎堤(歯
茎)の変化、など。

以上の理由により、**定期的な入れ歯の
診査、調整が必要になります。**

入れ歯の調整方法



入れ歯の調整をする為には、まず入れ
歯の適合具合を調べる必要があります。
当院でよく使用する二つを紹介しまし
ます。

①フィットチェッカー(シリコン系適合診査材)

時間が経つと硬化する薬剤を入れ歯の
内面に塗り、噛んで頂きます。硬化後、
その厚みからどれだけ義歯と粘膜間に隙
間があるかを判別
できます。



フィットチェッカーを使用した義歯

②デンスポット(ペーストタイプの適合診査材)

薬剤を入れ歯の内面に塗り噛んで頂き
圧迫の強い部分を特定し、歯科用エンジ
ン(下図)で少し
ずつ削ります。



デンスポットを使用した義歯

以上、入れ歯を削
る以外にも、入れ歯
の裏側(粘膜面)に
裏打ち材を使用して
調整をする場合があ
ります。



歯科用エンジン

◆ティッシュコンディショニングとは？

合わない入れ歯を使い歯茎を傷つけ
場合など、傷ついた粘膜を回復させ
るために行う治療法で、やわらかいゴ
ム質の材料(ティッシュコンディショ
ナー)を使って行います。材料を専用
の粉と液で練り合わせ、適度な硬さに
なったら口腔内に入れて固めます。こ
れは何度か繰り返し行って吸着と安定
をはかっていきます。

◆リベースとは？

内面を入れ歯とほぼ同じ素材で張り
替えて適合性を高めていきます。これ
は長期間の使用が可能です。
実際にはこの他にも様々な方法で患者様
に最適な治療法を行っていきます。

**口腔内は非常に敏感な為わずかな
変化でも痛みを感じます。放置して入
れ歯を使わなく
なるより少しの
調整で済むうち
に対処しましょう！**

